

令和２年８月定例教育委員会会議録

- １．開催日時 令和２年８月２５日（火） ９時００分～１５時４０分
- ２．開催場所 日野町役場 ４０１・４０２会議室
- ３．出席委員 今宿綾子教育長、高橋政宏教育長職務代理者
谷 信代委員、西村吉弘委員、吉澤正義委員
- ４．出席事務局員 教 育 次 長：望主 昭久
学 校 教 育 課：参事 吉村 俊哲 参事 小椋 慶洋
生 涯 学 習 課：課長 吉澤 増穂 参事 加納 治夫
図 書 館：館長 長谷川 毅
子 ども 支 援 課：課長 宇田 達夫

今宿 教育長	日程１ 開会 それでは、改めまして、皆様おはようございます。ただいまから８月の定例会を開催させていただきます。 ~~~~~
	日程２ 教育長あいさつ (教育長あいさつ) ~~~~~
今宿 教育長	日程３ 前回議事録の報告 日程３の前回委員会の議事録の報告につきましてでございますが、お手元に配付のとおりでございますので、委員の皆様におきましてご覧いただきまして、異なるところがありましたら事務局までご連絡をお願いいたします。 ~~~~~
今宿 教育長	日程４ 経過報告 続きまして、日程４の経過報告に入ります。前回の定例会以降の事業等につきましては、お手元に配付の各課の資料のとおりでございます。 このあと今後の予定のところの説明させていただく時に、一括してご質問・ご意見を伺いたいと思っておりますので、この資料についてはご覧をいただきまして、先に進めさせていただきたいと思います。 ~~~~~

	～～ 日程５ 議第３６号 幼稚園等に係る日野町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 今宿 教育長 それでは、日程５の議事に入らせていただきます。 「議第３６号 幼稚園等に係る日野町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。 事務局から提案説明をお願いいたします。 (提案説明) 今宿 教育長 ただいま説明がありましたように、地方税法等の改正によりまして、第７項・８項の２項を加えるという提案でございます。ただいまの提案につきまして質問・ご意見等ございましたらお出しいただきたいと思います。 高橋 委員 皆さん、おはようございます。議第３６号から第３９号まで事前に資料を出していただきまして、大変ありがとうございました。 まず議第３６号について宇田課長さんから縷々説明がございましたので、特に別表に２項を加える、この２項は法律的な用語で書いていますので、なかなかわかりづらいところがあるわけですが、政令指定都市からこちらへ来られた云々ということですが、日野町の子どもをお持ちの親さんにとりましては、いい教育政策の一環かなと思うのですが、これは関係する親さんがこういうことを知って申請をなさって、そして充実感を持っていただくというふうになるのか。行政の方からこういうものがありますよということでお知らせを関係の方にされて、そして実施をされていくのでしょうか、どうでしょうか。簡単にコメントをいただけたらありがたいです。 宇田 課長 特に８の方は、日野町に申し込みをされた段階で自動的にその扱いをさせていただきます。７につきましては、確定申告などの中でされていくものでございますので、これも申告が済んでいれば自動的にそのような適用を受けられるということでございます。
--	---

高橋 委員	ありがとうございました。充実していくなと思っております。よろしくをお願いします。
今宿 教育長	そのほかご質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。 (なし)
今宿 教育長	それでは、ほかにご質問や意見もないようですので、承認することとしてよろしいでしょうか。 (異議なし)
今宿 教育長	それでは、「議第 3 6 号 幼稚園等に係る日野町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を承認することといたします。 ~~~~~
今宿 教育長	日程 5 議第 3 7 号 日野町奨学臨時支給金給付事業実施要綱の一部改正について 次に、「議第 3 7 号 日野町奨学臨時支給金給付事業実施要綱の一部改正について」を議題といたします。 事務局から提案説明をお願いいたします。 (提案説明)
今宿 教育長	提案説明がございましたが、ご質問などございませんでしょうか。よろしいでしょうか。今回は期日「8 月 3 1 日までに行わなければならない」としたところを、「1 2 月 3 1 日まで」と延長させていただくということでございます。 それでは、特に質問等ございましたら、承認ということによろしいでしょうか。 (異議なし)
今宿 教育長	ありがとうございます。それでは、「議第 3 7 号 日野町奨学臨時支給金給付事業実施要綱の一部改正について」を承認することといたしま

	す。 ~~~~~ 日程 5 議第 3 8 号 財産の取得について（日野町立小・中学校教育用コンピュータ機器）
今宿 教育長	続きまして、「議第 3 8 号 財産の取得について（日野町立小・中学校教育用コンピュータ機器）」を議題とします。 事務局から提案説明をお願いいたします。 （提案説明）
今宿 教育長	以上でございますが、提案説明に対しましてご質問等ございましたらお願いをいたします。
高橋 委員	議第 3 8 号の財産の取得につきまして、今、次長さんからご説明ありがとうございました。 まず、取得の方法としまして契約が随意契約、資料をいただいた時から説明をお願いしたいなと思っておりましたけれども、県の共同契約ということがそもそも根拠的には随意契約になっているのかなと、今お話を伺ってそういう理解をしましたが、それでよろしいのでしょうか。 続きましてもう 1 点、G I G A スクール構想につきましては、先般から国の政策に基づいて町の方でも対応していただいて、ありがとうございます。以前、お話があったかと思いますが、1,090 台の各学校の配置の数を、もしわかっておりましたら教えてもらえたらありがたいと思いますし、また後ほどでも結構でございます。
望主 次長	それでは、教育コンピュータのことにつきましては、滋賀県の方で共同調達をさせていただきました。プロポーザル方式で執行し、県と市町が評価をし、評点で大塚商會に決まりました。それをもちまして日野町でも、随意契約という形になっております。 G I G A スクール構想に基づく 1,090 台の小学校別なんです、資料を持ち合わせておりませんので、後ほどさせていただきます。
西村 委員	非常に細かいことで恐縮ですが、質問させていただきます。 当初の予算のご提案では 1,091 台ということでございまして、4,909 万 5,000 円、計上されておりました。ところが先月の定例会で G I G A

	スクール構想につきまして学校教育課参事さんからご説明いただきました資料では1,090台、今回のご提案も1,090台ということでございました。つきましては当初の案から、1台減っている理由を聞かせていただきたいのと、もう1つは、現在使っていただいているタブレット端末は確かNECの機種だと思うのですが、今回購入していただくも同じNECですか。何がどうなのかということが少しわからないですね。 日野町の場合、前回購入したのは確か栗東市のキノビクスさんだったと思います。今回は一括購入ということになりますと、大塚商会さんになるわけですが、その辺のところを少しご説明をいただければありがたいと思います。
望主 次長	今回、購入するのは、1,090台であります。
西村 委員	私は1台がどうだと言っているわけではないのですが、予算案は令和2年度一般会計補正予算の第1号と同じく第3号の2回に分けて審議されて、小学校が504台と228台、中学校が243台と116台なんです。足すと1,091台の予算になっているのです。 前回のGIGAスクール構想のトータル的なご説明を頂戴しました時には、1台減っているなと思っていて、その時質問するとよかったのですが。
望主 次長	申し訳ございません。台数につきましては令和元年5月1日現在の人数で算出をしまして、その時の3分の2が国の持ち分というふうになっておりましたので、予算的には当初予算、補正予算と2回で予算化したため、端数処理の関係で1,091台と説明させていただきました。実際に購入する台数は、5月1日現在の人数1,635人の3分の2の1,090台を今回購入するものです。説明が十分できなくて申し訳ございません。
西村 委員	こだわっておるわけではございませんので。
今宿 教育長	ありがとうございます。
望主 次長	それとNECのパソコンかということでございますが、今回のパソコンにつきましてはLenovo社のものとございます。OSはWindowsのOSで使えますので、今まである資産については今回のLenovoの機械になってもそのまま動くということでございますし、現在大型提示装置の

	システムについても Windows 版ですので、機器が変わっても、日野町としては財産が変わりますけど、システムは Windows でしているので、今回 Windows で購入をさせてもらうこととなったところでございます。 県下の情勢で言いますと、WindowsOS は 8 市町、ChromeOS は 2 市、iPadOS が 7 市町ということで、それぞれに各市町によって OS が違ったのですが、日野町の場合は、機器が変わっても今までのシステムが使えるということで、WindowsOS の選択をさせていただいたところでございます。 最終、県の共同調達になった結果で言いますと、Windows 版・Google Chrome 版・iPad 版、滋賀県の場合は大塚商会在、3 OS ともすべて同じ業者で落札と結果的にはなったということでございます。大塚商会在が元請けとなり、そこからいろんな協力会社などが入ってくると思います。 それと、高橋委員さんからご質問いただいた 1,090 台の内訳でございますが、日野小学校が 363 台、西大路小学校が 51 台、南比都佐小学校が 49 台、必佐小学校が 206 台、桜谷小学校が 62 台、日野中学校が 359 台となっております。合計が 1,090 台となります。
今宿 教育長	ありがとうございます。1,091 から 1,090 になったということで、その時の児童数・生徒数のことだと思いますが、またもう少し詳細なところを説明できるようにしていただきたいと思います。 それから OS が 3 つに分かれるということも、これまで使用していたこととのつながりということですかね。
望主 次長	ChromeOS はほぼなかった OS だと思うのですが、今後を見越して使っておられるのだと思います。 もう少し説明しますと、WindowsOS 版にしました 8 市町は合計で 2 万台、ChromeOS の端末は 2 市で 1 万台、iPadOS の 7 市町は 5 万 5,000 台ということで、圧倒的に iPadOS のタブレットを導入された市町の件数が多いということが今の状態でございます。
今宿 教育長	よろしいでしょうか。
高橋 委員	時間を取りましてすみません。今、教育次長さんから具体的な会社等の説明もございました。日野に入ってくるのは Lenovo 社製の Windows 版、実は私 Lenovo を使っているのですが、こんな表現はどうなのかな

	と思うのですが、これはアメリカ製かなと思うのですが、Windows が当然動くのですが、ちょっと違うところがあったりするのですね。Lenovo は価格が低いかなと思ったりするのですが、学校現場でこれを使う時に、そういう困ったことが起こった時には、簡単に言うと、そういうメンテナンス、そういう人材と言いますか、そういう方が学校においでになればいいかと思いたすけれども、これからは政策がありますからそれに乗かって人材の配置もあろうかと思いたすけれども、Lenovo が日野町の学校に入るということで、全く問題はございませんか。使い方等について。
望主 次長	ないかと思いたす。
高橋 委員	わかりました、結構です。
今宿 教育長	ほか、ご質問等ございませんでしょうか。 このGIGAスクール構想による端末等の整備等につきましては、内容も含めてこれまで委員会でも協議をいただいてきたところでございますので、ハード面の整備とソフト面での指導という点については、今後とも十分研修もしていかなければならないと思っております。また、このことにつきましては9月議会に提案させていただくということになっております。よろしくお願いいたします。 それでは、ほかにご質問やご意見もないようですので、承認することとしてよろしいでしょうか。 (異議なし)
今宿 教育長	ありがとうございます。それでは「議第38号 財産の取得について(日野町立小・中学校教育用コンピュータ機器)」を承認することといたします。 ~~~~~
今宿 教育長	日程5 議第39号 令和2年度日野町一般会計補正予算(第5号) (教育費) について 次に「議第39号 令和2年度日野町一般会計補正予算(第5号)(教育費)について」を議題といたします。 事務局から提案説明をお願いいたします。

	(提案説明)
今宿 教育長	以上、9月補正につきまして縷々説明をさせていただきました。ご質問、ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。
高橋 委員	事前に補正予算（第5号）をいただいていたので、見てまいりました。お金のことはなかなかわかりづらいところがありますが、大きな話と細かい話ですが、2点教えてください。 今回の補正は、新型コロナウイルスの対策・政策諸々が入っているかと思います。例えば19ページ、何回か補正されていますから当初予算ではないと思っておりますけれども、教育費が合計で14億円くらい、そこへ補正が6,000万円くらい入って計15億円、そうかなと、そんなふうに思っております。 21ページの教育費のところ、特定財源、これは要するに新型コロナウイルス感染症対策の国の様々なお金も入っているのかと思いますけれども、歳出のところ、国県支出金が8,000万円、その他のところで2,000万円近いお金が計上されていますけれども、その他のところでコメントをいただけたらありがたいと思います。 それで、次は細かい話ですけれども、新型コロナウイルス感染症対策、例えば地方創生臨時交付金とかは恐らく今年度だけかなと思っております。そんな中で25ページ、先ほどから幼稚園から小中学校の運営に関するような具体的なお話もありましたけれども、とりわけ小中学校の修学旅行はキャンセル料とおっしゃいましたが、既にどうなっているのか。修学旅行はまだ検討されているのか。今年はやむを得ず中止にされるのか。中止にされるのならキャンセル料は要らないのではないかなと。それを予算に計上されているのはどういうことかなと思ひまして、以上、大変大きな話でコメントいただいて、あと25ページの小中学校の修学旅行の助成事業におけるキャンセル関係のお話でコメントをいただけたらありがたいと思います。よろしくお願いします。
吉澤 課長	高橋委員さんから、財源の部分についてのご質問を頂戴しました。中身といたしまして21ページの歳出の教育費の部分で、特定財源のその他1,958万円の計上についてのご質問だと理解いたしますが、めくっていただきまして22ページ・23ページをご覧いただきたいと思います。 歳入の特定財源がいくつか載っております。上から国庫支出金・県

望主 次長	支出金、次に 19 款繰入金がございます。教育施設整備資金積立基金繰入金、補正額 1,958 万円でございます。 先ほど申し上げました鎌掛公民館の駐車場整備に対しまして、教育施設の整備基金から繰り入れた特定財源をもって対応するということろでございますので、よろしくお願いいたします。 財源を見ていただきましたが、現在、新型コロナウイルスの関係で5月・6月に事業的には町の財政調整基金などを取り崩して予算化されているものについて、今回、国の交付金をそこに充てるような予算編成に変えている部分がございます。 これにつきましても、今年の1年間の限定のようなことかなと思っております。ただ、今後このウイルスがどのようなになるか、まだわからないのですが、現在、予算化している部分の中で組み替えなどをさせていただいているところでございます。現在、3兆円くらいの国の補正規模でしたので、日野町では3億円くらいの影響があるかなということで、組み換えをいろいろな形でさせていただいているところでございます。 修学旅行につきましては、小椋参事から近況を報告させていただいておりますが、基本的には予算編成をした時点で、最大限要予算を組んでいるところでございますので、ご承知願いたいと思います。
小椋 参事	修学旅行の現在の状況についてご説明申し上げます。日野中学校におきましては1学期最終日（8月7日）に、保護者の方に文書を中学校から配布させていただき、大変残念ではあるけれども、現下の状況を鑑みて、今年度の修学旅行は、延期をしたうえで9月25日～27日に再設定していたのですが、中止するということの判断をいたしました。 早い目に判断をした方が、日帰り等で代わりに思い出に残る行事を、バス等で近場でそういう体験をさせてあげる計画も立てられるだろうということで、そのような判断をいたしました。 中学校の場合は旅行の規模が大変大きいので、直前のキャンセルでなくても企画料等のキャンセル料がこの時期でも既に若干発生しますので、これだけの額が最終的に必要ではないのですが、ここからキャンセル料として支払わせていただくことになります。 なお、小学校につきましては、一番早い小学校が10月8日・9日、あとの学校は10月の月末28日・29日に行く学校が1校と、11月の中頃に行く学校が1校、それから日野小学校は3月の卒業直前というふうに予定をしています。

	これらの小学校につきましては、一斉に今の段階で「泊を伴う旅行は中止します」という判断をするのではなく、大きなキャンセル料が発生する 1 か月前から 3 週間前ぐらいを目途に最終決定をするということで、その場合でキャンセル料が何も発生しなければ支出はございませんし、行くと決定したものの直前になって感染者が発生したとかいう場合には 50%とか 30%とかのキャンセル料が発生しますので、その時の手当にさせていただく予定でいます。以上です。
高橋 委員	ありがとうございました。
谷 委員	あわせて今の修学旅行のことですけれども、中学校では中止が確定していて、旅行自体のキャンセル料はかかってはいいけれども、企画料が発生していて、それは今回の補正予算で賄えるので、保護者さんへの負担はゼロと考えていいのですか。
小椋 参事	正確な金額は覚えておりませんが、一人当たり 200 円～300 円くらいの企画料は全員分、中学生 170 人分発生するということですが、これはすべて保護者の方にご負担いただかずに、ここから支出させていただきます。
谷 委員	小学校の修学旅行、これから各校バラバラの日程で予定されていますけれども、例えば 10 月 8 日・9 日とか初めの方に設定されている学校でキャンセルとなって、その小学校は中止になって、3 月に行く学校はもしかして行けたとなった場合、各校で修学旅行に行けた子どもたちと行けなかった子どもたちが出てくる可能性もあるということですか。各校の判断になりますか。それとも最初の 1 校がダメになったら、もう日野町の 5 校一斉に中止とするのか、その点はどんな感じに考えておられますか。
小椋 参事	各小学校長の意見としましては、設定している時期もバラバラですし、学校の規模も様々ですので、一律にどこかの段階ですべての学校を中止するという判断をせずに、万が一中止しなければいけない場合は、その学校の実情に応じて、代わりに思い出に残る行事などを設定してあげるとことの前提のもとに、できる限りどの学校も行ける方法を最大限ギリギリまで探ってあげたいという思いを校長は持っておりますので、結果的に行ける学校と行けない学校（代わりの行事になった学

今宿 教育長	校)が生じることはあるかと思います。 修学旅行については、本当に悩ましいことですが、今回、修学旅行の意義ですとか、育てたい姿や力を明確にしながら、たとえ泊を伴わないとしても、子どもたちにとって意義のある活動ができますので、できるだけそういったことを考えていきたい、そういう機会が欲しいという学校長の声もありました。町教委としてもそれに応えられるようにできる限り協力したいと思います。 戻らせていただいて、1,091台についてお答えができるということです。
望主 次長	明確なお答えが西村委員さんのご質問の時にすぐにできなくて、申し訳ございません。もう1回予算のことを調べてみましたが、今回GIGAスクール構想で当初買うと言っていたのが3学年分でしたので、その時の、令和元年5月1日付けの児童数でしていただきましたので、当初予算の時は確かに小学校・中学校合わせて344台でした。今回、6月の補正でさせてもらったのが747台ですので、合計しますとおっしゃるように1,091台になります。 ただ、今回GIGAスクール構想で全学年ということですので、5月1日付けの児童生徒数が1,635人でございますので、それを3分の2にしますと1,090台とスカッと割り切れましたので、その時の予算の四捨五入の関係で当初予算の時に344台が本当は343台でもいけたのかもわかりませんし、予算取りの時に四捨五入した大きな方を取っておりますので、合計すると1,091台、人数分の1,635台を国の基準に基づく3分の2にしますと1,090台になりますので、今回まとめて1,090台買わせていただいたということで、申し訳ございません、しっかり勉強させていただきます。
今宿 教育長	それでは、元に戻りますが、先ほどの9月補正に関してのご質問はございませんか。 (なし)
今宿 教育長	ありがとうございます。それでは、ほかにご質問、ご意見がないようですので、承認することとしてよろしいでしょうか。

	(異議なし)
今宿 教育長	それでは、「議第 3 9 号 令和 2 年度日野町一般会計補正予算（第 5 号）（教育費）について」を承認することといたします。 ~~~~~
今宿 教育長	日程 6 今後の予定 それでは、ここで一旦議事を終了させていただき、日程 6 の今後の予定に移りたいと思います。先ほどの経過報告とあわせてということですね。 それでは、各課から簡潔に説明をお願いしたいと思います。 (各課から説明)
今宿 教育長	以上、各課の経過報告ならびに今後の予定の説明が終わりました。ご質問などございませんでしょうか。
高橋 委員	1 点だけ、要望をさせてほしいと思っております。定例会におきましては毎回、各課からの経過報告、それから今後の予定が書かれております。30 ページに「ふるさと日野学習推進委員会」というのが役場で行われていると書かれております。 学校教育は小中学校校長を中心にしまして教育活動を展開されるわけですが、従来から日野では、日野町全体の子どもたちの教育の向上のためにどういう教育政策的なことをしたらいいのかということが議論されてきたと思います。その 1 つがふるさと日野学習かなと思うのですが、この定例の教育委員会では非常にたくさんの重要なことの議論があらうかと思えますけれど、定期的にといってなかなか難しいだろうと思いますが、各学校教育の推進はそれぞれの学校で校長が中心になってやるわけですが、全体的に日野の教育を向上させるために、ふるさと日野学習は今こういうふうになっていると。それぞれの学校任せではなくて、日野町ではこういうふうにやっていくということで、こういう場で報告願えると、今後ありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。
小椋 参事	日野っこ育成プロジェクトの中に、ふるさと日野学習推進委員会・外国語教育推進委員会・学校 I C T 推進委員会等のいくつかの専門委員会

	を持っております。校長が1人代表を務めまして、各学校から1人ずつ推進委員を出して、それぞれの委員で日野の教育を引っ張っていくための先進的な取り組みを議論する取り組みをしています。 ふるさと日野学習推進委員会につきましては、昨年度は『私たちの日野』という社会科副読本の改訂作業を十分に進めましたので、本年度はその活用の状況がどうであるかということと、その他の日野のまちの良さを子どもたちに学ばせていくことについての取り組みを進めているところです。 今ご指摘がございましたように、また折を見てそれぞれの委員会の取り組みの様子について報告させていただくよう努めたいと思います。
高橋 委員	ありがとうございます。
今宿 教育長	ほかご質問等ございませんでしょうか。 非常に短い時間で報告をさせていただいたわけですが、確かに文字だけでなく具体的な説明もさせていただかなければならないと思います。特に日野町は5小学校・1中学校ですが、ほとんどの子どもたちが日野中学校へ進学するという中で、それぞれ規模の違う5校が、共通にしっかり実践していくというような観点と、町の課題をしっかりと連携しながら取り組むという観点と、これからの時代が要請する必要な教育の観点において、すべての学校の教職員が課題を共有して、各学校へ持ち帰るという形を取っております。 その時々にもそうしたお話をさせていただけたらいいなと思っております。 それでは、(2)新教育委員会委員の任命について、説明をお願いします。 (説明)
今宿 教育長	続きまして、(3)令和3年度の幼稚園、保育園、こども園入所児童の募集について、説明をお願いします。 (説明)
今宿 教育長	以上でございます。多くの議事でございまして、少し予定の時間を超えてしまいましたが、ここで暫時休憩とさせていただきたいと思いま

	す。
	(休憩)
今宿 教育長	それでは、再開をいたします。 ~~~~~ 日程 7 議第 40 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書および小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について
今宿 教育長	日程 7 の議事に入ります。 「議第 40 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書および小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」を議題といたします。 ~~~~~
今宿 教育長	道徳 『中学道徳 あすを生きる 道徳ノート』日本文教出版事務局から提案説明をお願いいたします。 (提案説明)
今宿 教育長	以上の提案説明でございます。具体的に見ていただいて、ご意見等ございましたらお出しいただきたいと思います。
高橋 委員	今般、来年度から中学校現場で使う教科書、正式には教科用図書と言いますが、その採択をするという非常に大事な局面を迎えております。各教科の中でも道徳は昔からありましたけれども、どの出版社さんも内容は年々充実してきているかなと思っております。 ただ、道徳につきましてはいろいろな考え方があろうかと思っておりますけれども、やはり学習指導要領に則って、それにふさわしい教材選定、そして 1 時間の授業の中で子どもたちがどういうふうに過ごしていくかということで鑑みますと、日本文教出版、参事さんからお話がありましたけれども、どの教材でも学習の進め方として子どもたちが、じゃあ、この教材に向かってどう対峙するかということが書かれています。例えば問題をつかもうとか、自分で考えてみようとか、そして問題について考え、議論しようとか。まさに道徳は先行的にされてきましたけれども、より充実の形で、簡単に言うと道徳性を養うという目標に照らし合わせて、非常にぴったりしているということが望まれる教科用図書ではなか

	ろうかと思っております。 その中で言うと、ここの日本文教出版が一番適切かなと私は思っております。以上でございます。
今宿 教育長	ありがとうございます。ほかございませんでしょうか。
西村 委員	道徳につきましては、昨年の「日野中学校ふれあいデー」の時に2年生のすべてのクラスで、一斉に同じ授業「道徳」をされて、あれは『2通の手紙』が教材でしたね。それぞれのクラスごとに先生が進行されているのですけれども、生徒たちに意見を求めてというところなどを見ると、確かにしようがないなと思うのですけれども、いろんな意見は確かに出てくる。しかし結果的に、言葉は悪いですけども、この教材は、徳目に連動している「ルールを守る」というところに、どうしても落とし込まないといけないということでやっておられるのがよくわかる。私もそれが非常に苦になりましたが、22の徳目とそれぞれの教材が結びついていますから、どうしてもそういう具合に持っていけないといけないというのは当然だと思います、先生としては。それぞれのクラスを見ている、だいたい同じぐらいの時間で同じぐらいの進捗度でやっておられる。こういうふうに進められるんだと、私も教育現場の話には全然素人の人間ですから、こういうふうにして進められるんだと、私自身は勉強になりましたが、同時に道徳で議論していくということの難しさ、子どもたちの素直な気持ち、そういうものが素直に出てくるというのは難しいのではないかと私は思いました。そして、議論を通じて広く深く学ぶということも、なかなか難しいことだなと感じました。この科目につきましては特別の教科ということなんですけれども、重要なものであるということは認識しつつも、やはり決められた方向に、型にはめられたような形にどうしてもなっていくんだなという意味では、それぞれの教科書会社が工夫をして、それぞれの特長を生かして採択してもらおうと提示しておられるのはわかるのですが、結果的にやはり、定められた大枠に縛られている以上、限界があるなと思いました。 私としては、結論的には、現場の先生方が論議いただいた、それぞれの6つの評価にポイントから見て、一番ここがいいだろうと思っていたことについては、そうだなと思いますので、日本文教出版に決めていただくということについては異議ございません。
今宿 教育長	これまでの授業の中でどうしても、徳目を押しつけられたり、教材を

	読むだけで終わりがちなところを、今回考え、議論するということが重要視されてきています。先ほど出ていました『2通の手紙』というのはすごく力のある教材として長い間、そしてまたいろんな教科書会社でも取り上げられているものです。ルールを守るとのこととやさしさ、思いやりというものをどう考えるかということなど、2通の手紙にいろんな価値があります。そこで葛藤し、子どもたちが自分なりにしっかり考えて議論ができるように、教科書の中で特に日文の場合は工夫がされていると、ブロックの選定会議の時にも意見が出ていました。 それから、現代的な課題と言いますか、安全とか情報モラルといった課題・内容についても、それに対応するような教材もたくさん工夫されているという意見もありました。この日本文教出版は分冊になっていて、書き込みのワークシートがあります。以前、ワークシートに書くことで授業が画一化されて、かえって授業が難しくなるのではないかということも議論されましたが、今回はワークシートを活用しながらしっかりと進めていきたいというご意見があり、この教科書が選定されたところでございます。 ほかございませんでしょうか。 (なし)
今宿 教育長	よろしいでしょうか。それでは、挙手をしていただくということにさせていただきます。よろしいでしょうか。 (異議なし)
今宿 教育長	それでは、承認していただく委員の皆様は挙手をしていただきたいと思います。 (挙手全員)
今宿 教育長	全員ということで、道徳につきましては、日本文教出版の教科用図書を採択するということでよろしくお願いします。 ~~~~~
今宿 教育長	国語 『現代の国語』三省堂 続いて国語の説明をよろしくお願いいたします。

	(提案説明)
今宿 教育長	以上で説明を終わりましたが、教科書をご覧いただいて、ご質問等ございましたらお出しいただきたいと思います。
西村 委員	感想ですけれども、評価のポイントの中で6番目の「地域のいろんな状況が反映されているかどうか」ということに関しては、国語科に関してはすべてB評価ということで、三省堂においてもBという評価ですね。取り上げる教材的には地域のことは難しいのですかね、だからBになるのですね、みんな。全国区だということですね。
今宿 教育長	そうですね。教科によっては滋賀の内容、郷土のことが取り上げられているものもありますが。
西村 委員	そうですね、評価できるような教材を盛り込むのが難しいということですね。
今宿 教育長	そうですね。特に6つの観点もですし、国語科の中では、語彙力の育成、情報の扱い方、特に学力調査などで、問題解決を行ううえで情報を活用する力が非常に必要とされています。部会では自分の思いがしっかりと明確に表現できる考え方の育成などの観点を独自に持ちながら調査されたという話も聞かせていただきました。 その中で最も優れているのが三省堂で、これを選定したところでございます。
高橋 委員	一般的ですけど、観点の6番目、今、西村委員さんからのお話もありましたけれども、家庭や地域と結びついた学習と、並列になっていますね。地域と結びついたかどうかというのはなかなか難しい面だと思いますが、家庭と結びつけるということはやはり、家庭での様々なこと、家庭での話と結び付けられるような教材という意味があるのではないかと考えております。 私は個人的に国語の教科書、例えば光村の「1年～3年」、あまりにも有名ですけれども、吉野源三郎さんの『君たちはどう生きるか』、コペル君の話ですが、時代が変わっても子どもたちに読んでほしいと思いますし、また一方では、子どもたちも知っているかと思いますが、

	又吉さんの馴染みのある小説とか、そういったものをどういうふうに取り入れるのか、なかなか難しいところがあるのかなと思いますけれど、やはり三省堂さんは、こんなふうに勉強していくというか、道しるべのようなものが教科書に載ってきている。昔はそういうものはなかったように思うのです。勉強する道しるべ的なものが段々増えてきて、親切になってきたことがいいのかどうかは置いておいて、どの教科書さんも工夫されているかと思います。 三省堂さんの教材、それをどういうふうに学習に乗せていくのかという点でいうと、いいのかなと思いますね。
今宿 教育長	三省堂の2年生の64ページ・65ページの短歌十首の中の10首目に、永田 紅さんの作品が扱われているのというのもポイントかも知れませんか。お母さんが日野中学校で教鞭をとられていて、紅さんのご主人も講演に来ていただいて、滋賀県の生まれと書いていますね、紅さんも日野町に来ていただきましたね。
西村 委員	図書館に来ていただきましたね。
今宿 教育長	お母さんの河野裕子さんが日野中学校で教鞭を取られていて、そのゆかりですっと地域の方が顕彰をされています。「ギャラリーつつむ」のこけら落としに来ていただいた川内倫子さんと永田 紅さんが、女性の表現者というテーマでの座談会がふるさと館であったのです。 短歌への関心の窓口になると考えられたかも知れませんか。 新学習指導要領の大きな目玉に「主体的・対話的な深い学び」が言われていますので、知識の数とか量だけではなくて、自分たちでその教材を用いながら主体的に、先ほどの道徳とも関連した流れになっているのかなと思いますし、各社、そういった面では工夫をいただいているなと思います。
西村 委員	やはりそういった地域と結びつきのある方が登場しておられるというのは、身近なものと感じますね。それと、ここにも書いてございますように、「語彙を豊かに」ということで、物事を日本語で考えるわけですので、言葉を操りながら物事を考え進めていくということでもありますから、すべての学びのベース（基礎）になるものではないかと思いますので、すごく大事なものです、そういう意味では。

今宿 教育長	そうですね、素晴らしい教材がどれだけ入ってるかというのも、また観点かと思います。 ありがとうございます。それでは、三省堂を採択するということで賛成いただける方は挙手をお願いします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。それでは進めさせていただきます。 ~~~~~
今宿 教育長	書写 『新しい書写』東京書籍 続いて書写でございます。 (提案説明)
今宿 教育長	以上の提案説明に対しまして、ご質問等ございましたらお出しいただきたいと思います。
高橋 委員	どの出版社も充実しているなど思いながら、中学校で書写を扱うというのは国語の中で扱う、確かそうでしたね。年間どれくらいになるのか、3年間でどれくらいになるのか。なかなか、3学年でこれだけという。
小椋 参事	書写の時数を確保するというのは決まっていますので。
高橋 委員	それほど多くはないと思いますが。
谷 委員	1冊丸々やりきるのですか。
今宿 教育長	教材の年間計画の中できちんと、教科の中で押さえていくことになるので。
小椋 参事	私も正確な時数が申し上げられなくて、申し訳ございませんが、教科書というのは基本的に教科書を隅から隅まで1冊丸々やるというのが目的ではなくて、各学校で教育課程を編成して、工夫して取り組んでいくのですけれども、そういった意味でもこの教科書は国語の教科書と連

	携して扱える、また国語以外の教科書と連携して扱えるという工夫がされているところで、しっかりと書写としての指導時数も確保できるという工夫がされているのではないかと評価されていると思います。
高橋 委員	確か毎週 1 時間ではなくて、続いて、準備も要りますから、書写の教室というのはあったのかな、うろ覚えですけども。
今宿 教育長	どの教科書もですけれども、今回すごくデジタルコンテンツ、QRコードが充実していますので、そこで「はらい」とか「折れ」とか動画ですぐに見ることができるという工夫ができています。自学自習に役立つような内容になっているかなと思います。1 時間（50 分）単位ではなく、2 時間つなぐということも実際にはされているかなと思います。 よろしいでしょうか。それでは、東京書籍を採択するということで賛成の方は挙手をお願いします。 （挙手全員）
今宿 教育長	ありがとうございます。書写は東京書籍を採択することに決定しました。 ~~~~~
今宿 教育長	地理 『社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土』帝国書院 続きまして地理でございます。 （提案説明）
今宿 教育長	以上、説明が終わりましたが、各社の教科書を比べていただきまして、ご質問やご意見がありましたらお出しいただきたいと思います。
高橋 委員	社会の地理ですが、これまでの教科書と変わるということですね。これは大変大きなことだと思います。既に専門部会で話し合われてそうなったわけですが、今参事さんのご説明にもありましたように、なぜこの教科書に変えるのかということが明確でないといけないと思うのですね。 そんな意味で今のご説明はありがたかったと思っております。子

	どもにとってわかりやすい教科書ということで、観点別評価の6番目もAというところは大きな要素ではないかなと思っております。 教育出版さんもAですけども、総合的には帝国書院さんの方がいいということですね。
今宿 教育長	各社、近畿地方の学習の中では琵琶湖がそれぞれ取り上げられているわけですね。写真の大きさ等は違いますけれども。 滋賀県の環境に対する取り組みをどう扱っているかも比べられたと聞いています。 帝国書院の場合は、特に二次元コードが非常に適切に付けられているということで、家庭学習・自学自習にも活かすことができるという意見が出ていたと思います。 地球環境と言いますか、SDGsの内容も、帝国書院には適切に取り入れられているということも聞いております。 よろしいでしょうか。それでは、地理につきましては帝国書院を採択するということで賛成の方は挙手をお願いします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございました。
今宿 教育長	~~~~~ 地図 『中学校社会科地図』帝国書院 続きまして地図です。 (提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。ご意見ございましたらお願いいたします。 現行のものが選定されているということです。
高橋 委員	帝国書院の地図帳はよくできていると思います。評価とは違うのですが、例えば100ページ、意見というのか思いが出ていますけれども、滋賀県の琵琶湖、全体がうまく出ていない。ありがたいことに日野町はきちんと書かれています。
今宿 教育長	東書のものもそうなんですね。切れていますね。近畿地方のペー

	ジにはちゃんと収まっていますけども、長浜は切れていますね。大阪・神戸・京都が中心、拡大されているので。大きくならないと入りきらない。 帝国書院を何年も使っていますね。これを見ながら地理を理解する子もいますね。好きな子もいますので。
西村 委員	やはり版が大きいということは、それだけ情報量の差が出てきますね。私たちも地図と言えば帝国書院だったように思いますね。
今宿 教育長	今回、先ほどの地理も帝国書院になりました。 それでは、採決させていただきます。地図帳につきましては帝国書院ということで、賛同していただける方は挙手をお願いします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。続けさせていただきます。
今宿 教育長	~~~~~ 歴史 『中学社会 歴史的分野』日本文教出版 社会科の歴史です。 (提案説明)
今宿 教育長	説明は以上でございます。ご意見等ございましたらお出しください。
高橋 委員	今、社会科の歴史の教科書で7社ですね、観点別評価はかなりCが多いわけですけど、この教科書は検定に通っているということですから、Cは合格基準ですね。さらにいいのがB、その上がAということですね。 歴史を扱う中で、日本の近現代史あたりがマスコミでもよく取り上げられていますね。例えば育鵬社ですと265ページから267ページあたりにかけて、我が国の領土をめぐる北方領土とか竹島の問題とかがダイレクトに書かれていますね。山川出版でも266ページあたり、北方領土・尖閣諸島・竹島のことが書かれています。すべての出版社であがっているのかどうかは教科書を見てみないとわかり

	ませんが、総論的にみんながそうだと思うような内容として取り上げられている、私は子どもにとってはいいのかなと、そんなことを思っております。 33 ページの日文の評価のところでは、②から⑥の観点別評価がかなり細かく記載されているなど感じています。 ⑥の観点は「家庭・地域と結びついた」云々ですが、日文さんでは八幡の水郷の写真ですか、そうは言っても会議の中では、なかなかAにはならなかったのですね。
今宿 教育長	教科全体を見ても、⑥の観点はなかなかAまでいかないですね。特にこの日文の中で、日文のみA評価なのが②の図書の内容の配列、⑤の表現・表記、資料・写真・挿絵が適切かつ正確というところで高評価を得ています。
高橋 委員	訂正します。日文さんの教科書 292 ページ、冷戦が終わった後の諸外国との関係、歴史を掘り下げるということで2 ページに渡って、他社さんと同様に北方領土問題とか竹島問題とか尖閣をめぐる問題とか、かなり深い内容がつぶさに記載されていますね。その次にはまた現代的な課題と言いますか、そんなものも取り上げていますね。
今宿 教育長	いかがでしょうか。トータルバランスがよいということで日文と化したと思います。 よろしいでしょうか。それでは、歴史につきましては日本文教出版を採択ということで、賛成の方は挙手をお願いします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。では、採択させていただきます。 ~~~~~
今宿 教育長	公民 『新しい社会 公民』東京書籍 続きまして社会、公民です。 (提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。ご意見等ございましたらお願いいたします。

西村 委員	特に公民は、より現代社会の課題などが取り上げられていますし、教科書で育成したい力、社会を知る力、つくる力、考える力を想定した時に、資料や量、また内容の質はどうかということで議論していただいたと思います。そうした中で東京書籍が選定されたところです。 また、特に地理、歴史、公民、それぞれの3分野の連携、小・中の連携といったものも大事であるという意見もありました。 公民については今問題になっている課題も教材として取り入れられているのは当然だと思いますけれども、どういうふうに授業でやっていかれるかということにかかっていますね、これは。そんな感じがします、これを見ていて。 だから、こういう話題の時にはこの写真が出てくるというのは、それぞれの出版社の考え方でつくっておられるわけだから、逆に言ったら、それをそのまま教えるということはまたどうかなと思う部分もないことはないのです。現場での先生方、教科書をどういうふうに使いながら教えていくかということになるのかな。
高橋 委員	社会科を教える先生が、年代的な課題も出ているでしょう。正しく理解して、それを子どもに伝えとか、そういうことの、こんな言い方はどうかと思いますけども、努力が求められていくかなと、それはどの教科でもそうだと思いますけども、そんなふうに感じますね。
今宿 教育長	特に教科書を1つの教材として考え、社会を考える力を、授業を通してどう指導していくかということが問われてくると思いますね。学校現場で努力していただくということになるかと思います。 ありがとうございました。それでは、東京書籍ということで賛成していただける方の挙手をお願いしたいと思います。 (挙手全員)
今宿 教育長	それでは、公民につきましては東京書籍を採択させていただきました。 ~~~~~

今宿 教育長	ちょうど時間が１２時でございます。まだ半分もいかないのですが、ここでお昼休憩させていただきますでしょうか。 それでは、再開を１３時３０分ということで、またお集まりいただきたいと思います。引き続き数学から協議していきたいと思います。ありがとうございました。 (休憩)
今宿 教育長	それでは、午前に引き続き再開します。
今宿 教育長	~~~~~ 数学 『数学の世界』大日本図書 早速ですけれども、数学について説明をお願いします。 (提案説明)
今宿 教育長	どの教科書も非常に工夫されて甲乙つけがたい中で、例えば１時間の授業が見開きで見られるとか、いくつかのポイントがあったかと思います。それらのことをトータルして大日本図書が選定されたということでございます。ご意見やご質問はございませんでしょうか。 特に数学の教科書の場合、生徒にとって、難しいというような表現がされていたわけですが、それをどういうふうに考えるのかというところも議論になりました。指導する側として生徒の反応を想定したうえで、問題の難易度、導入の時点で興味がひきやすく、より実態に合った扱いやすさなどの意見が出された中で、全体として大日本図書というふうにまとまっていったと思います。
高橋 委員	今説明をしていただきまして、ありがとうございました。どの教科書も甲乙つけがたいということでありましたが、改めまして大日本図書の例えば１年生の教科書、簡単に言うと、計算の仕方みたいなことは何の理屈もなく、これはこうするのだというところ、できているところと、これはこういうふうな理屈でこうなるのだというところがあるように思うのですが、例えば４７ページの例題８、いくつかの数の積というのがあって、こういう計算をなさいと。こ

	んなふうに考えるのですよと書いてあって回答例があるのですが、下に矢印で「約束」と書いていますね。これはこういうことをしたらだめだとか書いているので、改めて見るとこういうところが結構あって、数学の先生が指導されて、そんなに取り立てて考えなくても、これはこういうふうにするのだと、こういうふうにしたらだめだとか、この教科書ではそういう表示がしてあって、参考になるのと違うのかなと、そんなことを思いました。「約束」と書いてあるところは当たり前のことなんだけど、そういうことが丁寧に書いてあるなと思いました。
今宿 教育長	実際に授業をされている専門家の先生方が調査員として1ページずつ調査していただいた中で、授業をするにあたって扱いやすい図書であるという判断をされたものでございます。
高橋 委員	参事さん、「箱ひげ図」というのは今回から出てきているのですか。
小椋 参事	はい、そのように聞いています。
高橋 委員	これはどの教科書にも？
小椋 参事	必ず載っていました。すべて見ましたが。横の棒（ひげ）がはえていて、箱があることの説明がほとんどの会社もあれば、ヒストグラムと上下に並べてあったり、分布の特徴を言葉で書いてある教科書もありますし、1番から20番とかのデータがクルっとした丸があわせて書いてあったりとか、私の視点だったらここがわかりやすいなと、そこは各社特徴がありました。
高橋 委員	こういう表し方、まあまあ日常でもいろんなところにありますよね。
小椋 参事	縦型のものなどがよくありますね。
高橋 委員	研究報告などではいっぱいそういうものが出てきますし、日常でもテレビなんかではそういう表し方もありますね。データのどこでどういうふうに取り入れるかなのだと思いますね。

今宿 教育長	特に5の観点の中では、すべての教科書で触れられていますので、特に注目されたみたいですね。
小椋 参事	新しく入ってくることをどんなふうに各社が扱っているか、特徴があるかということを見極めていこうというふうに、調査部会の先生方は話し合いをされたようです。
高橋 委員	細かいことですが、箱ひげ図は学習指導要領に出ているのですか。
小椋 参事	もちろん出ているのだと思いますが、不勉強で申し訳ございません。もちろん出ていると思います。 箱ひげ図だけでなく、ダイアグラムとか、表やグラフの表し方とか、それも一通り見せてもらいましたが、各教科書とも工夫をされているポイントだったと思います。 単元の導入のところが、子どもたちが関心の持てそうなところからうまく入るような工夫ができているのかなというのは、説明を聞いたことをもとに改めて教科書を読ませてもらうと、なるほどなと私も感じました。
高橋 委員	小学校6年生の算数の感覚と中学1年の数学、どうですか、パッと見て。
小椋 参事	先ほど説明しましたように、1年生の教科書の各単元の入口のところに、小学校の時の分数の計算であったり、箱を使った式であったり、そういったものが必ず単元の頭に1ページ付いているので。
高橋 委員	例えば振り返りとか？
小椋 参事	そうではなくて、今手元にないのですが、始めのところですね。そういう工夫がしてある教科書はいいなと思いました。それはこの教科書ではなかったですね、すみません。日本文教出版ですね。小学校との既習事項との関連をうまくされているというのと、それに通じるところが、大日本さんでいうと、こういう実際の生活に関係するような見開きの入り方ですね。

今宿 教育長	1年生の巻末に、小学校の算数のところがあります。前の学年の復習とかが巻末にありますね。
小椋 参事	比例とか反比例に入るのですが、いきなり比例・反比例だと思わせないような、マラソンコースの地図があって、私たちが見るとこれがどう比例・反比例につながってくるのかなと最初は思うのかも知れないですけど、小学校で学んだことがこういうふうに深まっていくのですよというような単元の導入の仕方、工夫されている会社の教科書は、大日本さんに限らずそういうところは、小学校教師の目線でいうと、子どもたちにとってわかりやすいのではないかなと感じました。
今宿 教育長	そういう観点でいうと、小中学校の系統性が重視されているということですね、大日本図書の場合は特に。
小椋 参事	東書・大日本・日文あたりが。
今宿 教育長	その辺が工夫されているなど。1から6までの観点をトータルして、総合的に大日本図書が選定されたと思います。よろしいでしょうか。 それでは、数学は大日本図書の『数学の世界』を採択していただくということで、よろしければ挙手をお願いいたします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。それでは大日本図書を採択させていただきます。
今宿 教育長	~~~~~ 理科 『未来へ広がるサイエンス』啓林館 次は理科ですね。お願いします。 (提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。ご意見ございましたらお願いします。

高橋 委員	中学校の理科の教科書につきましては、その時々によって内容の修正とか、深い内容を入れたりとか、変遷をしてきたと思います。やはりこういう時代ですので、理科というのは昔の分野で言うと物理とか化学とか生物とか地学と呼んでいましたけれども、身近なと言いますか、興味関心を惹くような写真と図表とかがたくさんある方が、子どもにとってはわかりやすい。さらに調べてみようということにつながりやすいのではないかと考えています。 例えば、1年生の啓林館の101ページあたり、地層をはぎ取るのですね。こういうのがかなり広がっているのですが、教科書に出てくるのは初めてに近いのではないかなと思ったりしますし、あるいは先ほど眺めていたのですが、火山が噴火すると様々な火山灰が降ってくるわけですが、そんな中で88ページ、火山ガラスと言われるものがあるのですが、日野町でもこういう火山ガラスと言われるものだけでできている火山灰層もあります。年配の方なら磨き砂とか呼んでおられますが、あの正体は火山ガラスですね。ですから、非常に、逆にいうと幅広い内容ですので、理科の先生がそれぞれの分野に興味関心を持ってもらえるということが大事かなと思いますし、子どもたちもできるだけ表とか図などがたくさんあると興味関心を持ってくれると。 ほかの啓林館以外のところもいろいろ工夫はされていると思いますけれども、啓林館の編集と同様にQRコードでさらに探求的に調べようとする生徒や先生には、そういったところを活用してもらいやすいのではないかなと考えております。 以前よりもすごく情報量がたくさん詰め込んでありますね。 それからほかの出版社でも、例えば大日本図書の115ページをパッと見たのですが、「消化と吸収」というところで、可視化しているのですね、炭水化物とかたんぱく質とか脂肪とか、棒状のものとか丸いものとか四角いものとか、実はこれは、高校でダイレクトにつながっているのですね。ほかの教科書会社でもこういうような視覚化されたものが出ているというのは、より以前に比べたらいいなと思います。 啓林館の教科書は以前より大きくなったのかな？
小椋 参事	私は存じ上げないのですが。
高橋 委員	東京書籍さんが縦長になったのですね。

小椋 参事	サイズが違いますね。
高橋 委員	そんなこと感じました。
今宿 教育長	ありがとうございます。そのほかどうでしょうか。
西村 委員	啓林館さんのQRコードをちょっと試しに開いてみましたが、「唾液の働き」というところですけども、動画が出てきて面白そうですね。一つひとつのテーマについて深められるし、興味を惹くような中身ではないかなと思いました。 それから東京書籍さん、1冊でも重いしね、なかなか大変ですね。形もさることながら、先ほどの地図もそうなんですけれども、大きさ、重さ、いろいろ考えますと、大変だなと思ひまして、デジタル教科書というようなことでいろいろ話題にもなりましたが、基本的にはペーパーがベースで、なかなか大変だなという思いが強いですね。
今宿 教育長	昨年も小学校教科書採択の時に、ランドセルに入れての持ち帰りが大変だという意見もありました。各学校、教室に留め置くということも含め、それを学校でどう対応するか考える必要があります。
西村 委員	7～8キロくらいありますよね。中身を充実、本当に丁寧にやっていくと分量は増えるわけですし、そこは理解はするのですが、現実問題として、そこまで丁寧にしなくてもという思いがなくもないのです。いろんなところにちょっと吹出しで書いてあるとか、ちょっと図が書いて「振り返ってみよう」とか、そういうのがいっぱいありますね、どれもこれも、サービス満点で。1年前のことを振り返ってみようとか、そういうのもあった。去年こういうことを学びましたということを思い出して、今の勉強をしましょうということ、親切は親切だけどね。うーん。
今宿 教育長	指導する側にとっても、親切かもしれません。
高橋 委員	逆に言うと指導する先生がいろんな分野に意欲的に知ることが、中学校の理科の先生には求められると思いますね。

小椋 参事	どの教科も、何を知ったかということよりも、何ができるか、何に使えるようになったかということが今重要視されていますので、そういうところがどの教科書も大事にされているのではないかなと感じます。
西村 委員	先ほど採択された数学などは積み重ねの部分だから、特にそういう、こういうことを学んだからもう 1 回振り返ってみようとかいうことだと思いますけども、理科はまたちょっとここは違うなと思って見ております。興味をひくところからという面もあるので、私はそれはいいと思います。
今宿 教育長	今回、特筆すべきところとしては、表・図、QRコード、写真などが、本当に視覚的に刺激のあるものが準備されています。理科や科学に対する関心、夢、希望、自然の事象に関心を持つことが、これらを通して理科・化学を探究するという力を育てるものがここそこにあふれていて、各項目すべて A という結果になったようでございます。 それでは、理科については『未来へ広がるサイエンス』啓林館ということで、採択してもよろしければ、挙手をお願いいたします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございました。 ~~~~~
今宿 教育長	英語 『NEW HORIZON English Course』東京書籍 それでは、次は英語です。 (提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。ご意見ございましたらお願いいたします。 ちょうど協議の中で、改めて新しい指導要領の中の何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何ができるようになったのかということが大事だというふうに言われるわけですがけれども、その辺のところが大変意識されて、先ほどの理科もですし、社会もですし、しっかりし

今宿 教育長	た構成になっているなど。それがまた丁寧過ぎるかもわかりませんが。小・中の連携といったところの観点ですとか、そういったところをトータルして東京書籍を選定させていただきましたが、それでよろしいでしょうか。 よろしければ挙手をお願いしたいと思います。 (挙手全員) ありがとうございます。
今宿 教育長	~~~~~ 音楽 『中学音楽 音楽のおくりもの』教育出版 『中学器楽 音楽のおくりもの』教育出版 それでは、続いて音楽です。 (提案説明)
今宿 教育長	音楽につきましては2社の中から、現行の教育芸術社から教育出版のものに変わるということでございます。ご意見やご質問ございましたらお出しいただきたいと思います。 (なし)
今宿 教育長	よろしいでしょうか。それでは、音楽につきましては一般・器楽共に教育出版を採択するという事で、ご賛同いただけますでしょうか。挙手をお願いいたします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。 ~~~~~ 美術 『美術』日本文教出版 続きまして美術です。

	(提案説明)
今宿 教育長	美術につきましては日本文教出版のものが選出されましたが、ご意見等ございましたらお願いします。
西村 委員	拝見していて、なかなか楽しいというか、広がりがそれぞれにあって。
今宿 教育長	我々が今見ても楽しいですね。 各社それぞれ工夫を凝らしていただいて、それぞれ良さがあるという中で、観点別に見たら日文の教科書が使いやすく、内容もすべてA評価でございました。
高橋 委員	以前よりもボリュームが増えているのですかね。
今宿 教育長	そうですね。1ページのボリュームも増えていますね。 よろしいでしょうか。では、美術につきましては日本教育出版を採択するということでご承認いただける方は挙手をお願いします。
	(挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。
	~~~~~
今宿 教育長	<b>技術</b> 『技術・家庭 技術分野』開隆堂出版 <b>家庭</b> 『技術・家庭 家庭分野』開隆堂出版 続きまして、技術と家庭と両方見ていただきましょうか。
	(提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。技術分野・家庭分野ともに開隆堂出版ということで選定されました。ご意見ございましたらお願いいたします。
高橋 委員	開隆堂さんの教科書のサイズは大きくなったのですか。
小椋 参事	ちょっとずつ違いますね。

谷 委員	男子も女子も、技術も家庭もどちらもしているのですか。
今宿 教育長	そうです。以前、我々が生徒だった時は分かれていましたが、男女共同参画社会です。
谷 委員	ノコギリを使って板を切るとか、女子もしているのですか。
今宿 教育長	女子もしていますね。 これも非常に生活に密着している教科だなと感じます。
高橋 委員	開隆堂さんは説明がありますけれども、QRコードが動画になっているのですか。
今宿 教育長	そうですね。
高橋 委員	例えば、パッと見たところ家庭分野、121 ページ。
今宿 教育長	多くのページにありますね。例えばどんな感じですかね。
高橋 委員	この作り方、これが動画で見られるのかな。上手にできていますね。
今宿 教育長	例えば、今、121 ページを読み取っているのですが、シチュエー、動画で鍋に水を入れるところから、たぶんミシン等を使用する場合もわかりやすくなっていますね。
高橋 委員	家で見ながらできますね。
今宿 教育長	そうですね。非常に量が多くなっていますね。これだけ多様化されているのは今回の改訂からですね。
小椋 参事	その会社独自で持っているコンテンツに行くものもあれば、違うところへ行くものもあるようです。
望主 次長	NHKへ飛んだり、いろいろQRコードが違うようですね。楽で

	すね。公開されているものを紹介しているだけなのだから。
小 椋 参事	使用条件さえ守っていれば。
今宿 教育長	各社、QRコードのことについては触れてはいますけれども。          ありがとうございます。それでは、技術家庭両分野とも開隆堂出版を採択するということで、承認いただけますでしょうか。挙手をお願いします。
	(挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございました。
	~~~~~
今宿 教育長	保健体育 『最新 中学校保健体育』大修館書店 次は保健体育です。
	(提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。
高橋 委員	確か、教科書が変わるんですね。
今宿 教育長	現行が大日本図書で、今回は大修館にということですね。判断力・表現力が追加されて、保健体育の教科の中でも、関心を持って自分の考えを表現する、友だちとの違い等も意識しながら表現をするというところも加えられているところでございます。 吉澤先生は、保健体育の中学校、先生でしたよね。どんなご感想を持たれましたか。その当時に比べて。
吉澤 委員	技術家庭と保健体育は3年間1冊の教科書ですので、1年生の時に生徒が教科書をもって、パラパラと見て、「わあ、難しいことを勉強せんねんな。3年間しんどいのと違うかな」というふうに感じるのではないかなと思いますけれど、大事に使ってくれるといいかと思うのですけれども。

今宿 教育長	保健体育の教科書とか技術の教科書を手にするのは、中学校で初めてですね。
小椋 参事	小学校は「保健」はあります。
今宿 教育長	3年間の学習内容のガイダンス的なところで、こんなことを学んだなということも見通しを持ってわかりますね。
吉澤 委員	3年間でこれだけのことを学習するのですけれども、保健に関してはこの教科書を使う時間確保が規定のとおりにはなかなかいかないと思います。苦しいと思いますね。
今宿 教育長	体育的な、外で身体を動かすということもありますし。
吉澤 委員	ほかの教科も一緒だと思いますけれども、どうしても規定数を確保するのが大変で、ついつい、体育的な行事があるとそちらの方へ取られることもありますし、だからどうしても保健体育というのは、外での活動・事業を予定していたのが雨でできなくなって、体育館はほかのクラスが入ってるからできなくて、そういう時に保健を急にやらないといけないということもありますので、なかなかきちんと詰めて集中してやるというのも、指導の仕方としても難しいとは思いますが。 「せっかく今日は外でできると思ってたのに……」とか言われて、始まったら教科書を忘れてきてたり、そんなことも多くありますから。それでも中身はどんどん増えているようには思いますね。
今宿 教育長	特に保健体育などの場合は、すべて隅から隅までするわけではないのじゃないかな。必要なところ。
吉澤 委員	生活に密着する、すごく大事なことを学習することが結構ありますので。
今宿 教育長	健康とか病気とか、特に今みたいな状況の中で、余計にみんな関心の高いところだと思います。
西村 委員	今活躍されている方の写真が出ているものがありますね。先に見

	せていただいた教科についても。なかなか難しいですね。現役で活躍されている方が写真に出てあるというのは。この教科書自体が長く使うものであるということを考えると、なかなか微妙なところもありますね。今の大修館のものは写真が少ないでしょう。
今宿 教育長	一応、見直しは4年ということですね。
西村 委員	4年間はそれを使うということだから。午前中に見せてもらった中にもそういうものがありましたから。
吉澤 委員	保健体育の教科書、大日本は、彦根出身の桐生選手が載っていますね。
今宿 教育長	誰でも知っていますよね。何をここに取り入れるかというの。 ありがとうございました。それでは、採決に移らせていただきます。中学校の保健体育につきましては大修館書店を採択するという ことで、承認いただけますでしょうか。挙手をお願いいたします。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。 ~~~~~ 中学校特別支援学級 『ゆっくり学ぶ子のための国語4』同成社 『ゆっくり学ぶ子のための国語5』同成社 『くらしに役立つ国語』東洋館出版社 それでは、特別支援学級で使用する教科用図書でございます。 (提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。ご質問等ございましたらお願いいたします。
西村 委員	これを拝見すると、昨年のは2005年とかなっていて、例えばパソコンがどうだとかいろいろ書いているけど、今の時期と中身、現在は変わっているのですか。

小椋 参事	同じだと思います。段々古くなって。
西村 委員	版が古いですね。技術革新のもとで少し変化のある部分もあると思いますけど。限界がありますけどね、発行されている量がありますので、やむを得ないことなんですかね。
小椋 参事	現在は『国語 5』が 3 年生で、『国語 4』が 2 年生で、『国語☆☆☆☆』が 1 年生なんですが、4 と 5 を 1 学年ずつ下におろして、3 年生に新たに『くらしに役立つ国語』を入れるということです。
西村 委員	3 年生のこれは中身が非常に新しいのですけど。
谷 委員	装丁がね。
今宿 教育長	それこそ、この教科書ですべての学習、個々の学習を終えるというよりも、この教科書を基本としながら、補助的な資料等も使って学ぶということに取り組んでいます。
谷 委員	これは知的の子どもたちのための教科書ですけども、今年の入学の方の中で難聴の方がいらっしゃいましたね。あの方は対象外になるのかな。知的ではないから、普通の一般の子どもたちと同じ教科書を使ってもらえるのですね。
小椋 参事	そうです。
今宿 教育長	一般の教科書は無償配布ですね。これも支援学級の対象ではあるのですけれども、どちらか選択をされる場合もあります。 特別支援学級の教科用図書は、配給不能であったりすることがこの後で明らかになってくるのが毎年往々にしてあります。現時点では供給可能になっているのですけれども、廃版になっていたりとかもしますので、そういう時には次点のものを選ぶということに取り決めてあるのですけれども、今回調査部から示されたのはこの 3 冊ということでございます。 内容的に時代にそぐわないものであったり、また新しい内容のものを取り入れるという場合もありますので、いろんな教材等も使いながら、それぞれ子どもたちの力に合わせた、個々に応じたものに

	なってくるかなと思います。同じクラスであっても対象の子どもさんの実態は違うということになりますので、これがぴったり合うかどうかということも、実際の個々に応じた中で進めるということになります。基本として中学校1年生・2年生・3年生の図書については、この図書を中心として使用していくということです。 それでは、『ゆっくり学ぶ子のための国語4』『ゆっくり学ぶ子のための国語5』『くらしに役立つ国語』を中学校の特別支援学級教科用図書と採択させてもらって、よろしいでしょうか。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございます。 ~~~~~
今宿 教育長	小学校特別支援学級 『はじめてのえいごレッスン』成美堂 それでは、特別支援学級で使用する教科用図書でございます。 (提案説明)
今宿 教育長	以上でございます。6年生の外国語としまして、成美堂の『はじめてのえいごレッスン』が選定されました。ご覧いただきまして、ご意見がございましたらお願いします。
谷 委員	『えいごえほん ぞうさん がっこうに行く』、英語がざあっとあって、どうなのでしょう。CDは付いているのですか。
小椋 参事	『えいごレッスン』にはCDは付いています。『親子でうたう英語 うた絵じてん』にも付いていますが、『ぞうさん がっこうに行く』には付いていません。 説明を省きましたが、朝起きてから下校の時刻までが1冊のお話として構成されているということで、動物とか文房具とか、身体の部位とか、そういうことが学べるようになっています。会話をを使って、単語数も適切であるということです。 ただ、26年も前に発行されているもので、長い間親しまれている、普遍的な魅力がある図書ではあるが、26年前のものであります。 あと表現が、stand upやI'm sorry, thank you, I'm fineなど、

今宿 教育長	活用度の高いものが決まり文句のようになっていて、おなかがすいたとか疲れたとか、他の表現を勉強する時にはちょっと残念だなという意見もありました。 26 年前は絵本だけという感じなんですかね。CD が付いていないのが残念だなというふうなご意見ですかね。 それと表現も、画一的というものなので、教科用図書として使用するには、『はじめてのえいごレッスン』はCD もついているし、正しいネイティブの発音も耳にすることができるので、より適しているということでしょうか。 よろしいでしょうか。それでは、他にご意見もないようですので、小学校 6 年生外国語につきましては、『はじめてのえいごレッスン』を承認していただけますでしょうか。 (挙手全員)
今宿 教育長	ありがとうございました。本当に長時間にわたりまして慎重にご協議いただきまして、ありがとうございました。 ただいまご協議いただきましたすべての教科書につきまして、令和 3 年度から使用することについて、改めてご承認をいただけますでしょうか。 (異議なし)
今宿 教育長	ありがとうございます。それでは「議第 40 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書および小中学校特別支援学級教科用図書の採択について」を承認することといたします。 ~~~~~
今宿 教育長	日程 8 その他 続きまして、日程 8 のその他に移ります。担当から順次説明をお願いします。 (説明) ~~~~~

今宿 教育長	日程9 閉会 それでは、大変長時間に、丸一日になってしまいましたけれども、 以上をもちまして8月の定例会を閉じさせていただきます。 ありがとうございました。ご苦労さまでございました。 (閉会)
---------------	---